

11. 学校関係者評価

自己点検・評価表

実施日：令和4年3月9日

学校名：専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

評価結果

1. <教育理念・目標>			評価
1	1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか	4
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4
1	3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	3

コメント

教育理念・目標の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目3以上の評価となった。指摘事項としては、前年と同様に入学前の保護者に対する説明会を動物看護科において実施しているが、他の学科で導入、もしくは保護者への情報提供をより充実させることができるかが今後の検討事項である。

2. <学校運営>			評価
2	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
2	3	学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4
2	4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	3
2	5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
2	6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3

コメント

学校運営の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目3以上の評価となった。マネジメントレビュー(学校運営管理や事業計画の振り返り)に関するエビデンスがやや不足している感じもあるが、概ね適切な学校運営ができていると言える。

3. <教育活動>			評価
3	1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
3	4	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	4
3	5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	4
3	6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	3
3	7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
3	8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
3	9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3

3	10	動物看護職関連分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか	3
3	11	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	3
3	12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	3
3	13	講義に関し機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	4
3	14	実習に関し、機構推奨コアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	4
3	15	講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	3
3	16	動物を使用する実習、実験等に関し、これらに関する倫理・動物の福祉について規則やマニュアルが整備され、公表されているか	3
3	17	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	4

コメント

教育活動の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目3以上の評価となった。昼間部の全学科が職業実践専門課程に認可され、年2回以上の教育課程編成委員会を開催し、学科別で現行のカリキュラムに関する意見交換を行うことができている。専門分野に属する外部委員の意見を活用し、定期的カリキュラムやシラバスの見直しも行っていると言える。指摘事項として、各学科のカリキュラムは体系的に編成されてはいるが、カリキュラムツリー(マップ)が動物看護科のみ作成されているので動物管理科、植物管理科での作成が望まれる。より詳しいコマシラバスも次年度から取り組んでいって欲しい。今年度から実施しているGigaスクール構想の取り組みは評価でき、今後も活用の幅を広げて欲しい。

4. <学修成果>			評価
4	1	就職率の向上が図られているか	3
4	2	資格取得率の向上が図られているか	3
4	3	入学者に対する卒業率はどうか	3
4	4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか	3
4	5	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	3
4	6	教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	3
4	7	総合臨床実習(インターンシップ)について、依頼先の獣医師等と十分なコミュニケーションをとり、その内容、評価法等を事前に決め、評価しているか	3

コメント

学修成果の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目3以上の評価となった。卒業生の就職率においても毎年90%以上を継続しており、適切な就職指導がなされていると言える。資格合格率は各学科での数値に多少の差はあるが、概ね70%以上の合格率を継続している。企業説明会では、オンラインの活用を行い、様々な企業の動向を学べる機会を作ったのは評価できる。

5. <学生支援>			評価
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	3
5	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
5	4	学生相談に関する体制は整備されているか	3
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
5	6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	3
5	7	保護者との連携は適切か	3
5	8	卒業生への支援体制はあるか	2

5	9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
5	10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

コメント

学生支援の各項目については、前年の評価と同様に5-8卒業生への支援体制に関して、生涯の就職サポート制度として卒業後の対応をしているが同窓会が設置されていないことなどを含め、明確なエビデンスが不足している為、自己評価の通り2評価のままで指摘事項とした。学生の健康管理においては、特に精神面でのサポートとして専任のカウンセラーが設置されている。経済サポート面においては前年同様に学校独自の経済支援システムが充実している。卒業生について必ずしも千葉市にいるとは限りられないため卒業生が先生や事務スタッフと交流できるオンラインの場を設けるのも良策といえる。

6. <教育環境>			評価
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
6	2	防災に対する体制は整備されているか	3
6	3	実習室には検査に必要な設備が備わっているか	4
6	4	基本的な動物看護実習に用いる動物を使用できる実習室が備わっているか、また必要な数の動物が利用できるか	4
6	5	自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	4
6	6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	3
6	7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	3
6	8	海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	2

コメント

教育環境の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目3以上の評価となった。本校舎に加え、おゆみ野ドッグサイト、長柄ドッグヒルズ、千葉ライディングパークなど豊富な実習施設を有しており、長柄ドッグヒルズと千葉ライディングパークへは送迎バスを運行しているなど交通サポートも万全である。また、実習に用いる犬、猫、小動物を学校で飼育しており、実習授業で用いる動物が十分に確保されているが学生数が増えて不足が出てくるので充実を図ること。海外研修制度については実施が出来なかったが、オンラインでもグローバル教育の観点から継続検討すべき課題であり、2評価とした。

7. <学生の受入れ募集>			評価
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
7	2	学納金は妥当か	3
7	3	障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか	3

コメント

学生の受入れ募集の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目3以上の評価となった。入学希望者と保護者に対しての情報提供が充分になされ、適切な募集活動が行われていると言える。ホームページは学校の特色や雰囲気伝わるように360°のVR動画など様々な施策を行ったことが評価できる。

8. <財務>			評価
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
8	4	財務情報の公開の体制整備はできているか	3

コメント

財務の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目3以上の評価となった。財務関連の資料はHPの情報公開資料の内容として掲載されており、会計監査も適正に行われていると言える。

9. <教育の内部質保証システム(法令等の遵守)>			評価
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
9	4	自己評価結果を公開しているか	4
9	5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	3
9	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	3
9	7	教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか	3

コメント

教育の内部質保証システムの各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目3以上の評価となった。自己点検・評価表はHPの情報公開資料の内容として掲載されている。前年の指摘事項と同様で、文書管理規定はあるが、決済規定が文書化されていないので改善されることを期待する。

10. <社会貢献・地域貢献>			評価
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

コメント

社会貢献・地域貢献については、重点方針にも記載されており、学生と職員とで募金やエコキャップ回収などのボランティア活動を行っている。また、今年度は実施できなかったが、小学生を対象に年2回お仕事体験会を無料開催しているとのことで、地域に多く貢献していると言える。

11. <国際交流(必要に応じて)>			評価
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行き、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
11	2	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	2

①課題

国際交流については、コロナ禍なこともあり、出来なかったが、留学生も少数ながら入学しており、学習サポートを適切に行っている。ただ専門的スキルを要する為、コミュニケーションが取れることが条件となるが、引き続き取り組んで欲しい。11-2の項目に関しては卒業後の進路管理という意味でエビデンスが不足していることから現時点では2評価とした。

総評

専門分野の企業と連携して充実なカリキュラムを編成することを、今後はより拡充して即戦力の卒業生を育てて欲しい。動植物関連の実習、演習授業の環境は非常に整備されていて高度な授業展開が可能であると言える。また、充実した施設を積極的に専門業界や協会に貸出しており地域にも貢献している。危機管理面においても豊富な防犯システムを用い、災害マニュアルも確立されていてリスクマネジメントができている。また、オンラインの取り組みも積極的に行い、時代に即した教育を行う姿勢が見られた。総合して適切な学校運営がされている評価であるが、動物看護科以外で整備されていない部分や一部不足しているエビデンス、より優良評価となる為に改善できる項目があるので今後の取り組みに期待したい。